



2024年8月26日

川崎汽船株式会社

川崎近海汽船株式会社

ケイライン・ウインド・サービス株式会社

Acteon Group Operations Limited

## ケイライン・ウインド・サービスと Acteon 浮体式風力発電事業における協力協定を締結

川崎汽船株式会社と川崎近海汽船株式会社の合弁会社であるケイライン・ウインド・サービス株式会社（以下、「KWS」）と国際的な海洋インフラサービス企業である Acteon Group Operations Limited（以下、「Acteon」）は、日本における浮体式洋上風力発電事業での実証案件・商業案件における広い協業検討を目的とした覚書を締結しました。両社は、それぞれの技術とサービスを組み合わせて、日本における浮体式洋上風力発電事業の開発を支援してまいります。

KWS は、2021 年から 2023 年度まで実施された NEDO GI 基金 Phase1 に参加し、大規模な浮体式風力発電所における船舶を用いた係留施工方法の研究を行い、現在も実証事業や商業化実現に向けた取り組みを進めています。今回の Acteon との協業をもとに、船舶を用いたより安全で効率的な係留施工サービスを提供する体制の構築を目指します。

Acteon はグループ傘下の InterMoor を中心に、設計から施工、撤去まで浮体式設備の係留エンジニアリングを手掛けており、日本での浮体式洋上風力発電の実証事業および商業案件で、KWS とともに包括的な係留エンジニアリングサポートを提供することを目指します。

### KWS 代表取締役社長 蔵本輝紀のコメント

「Acteon は欧州を始め、係留施工や浮体式洋上風力の分野で素晴らしい実績を有しています。これまでオフショア支援船の知見と実績を積み上げてきた川崎汽船グループと Acteon の知見を組み合わせることで、日本における浮体式風力エネルギーの開発に貢献できるようになってまいります。」

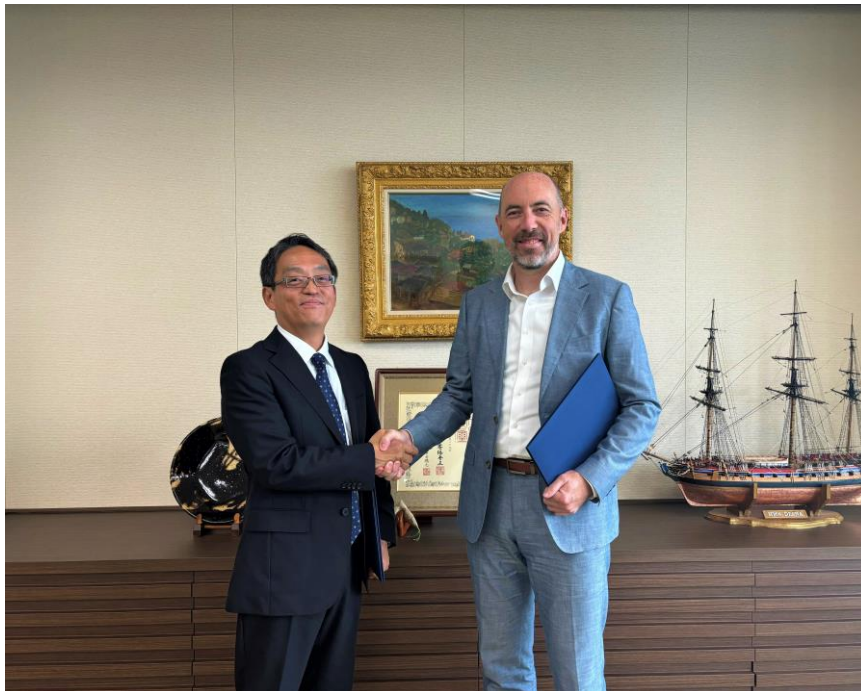
### Acteon COO Barry Persons のコメント

「私たちのエンジニアリングおよび海上設置における専門知識とリソースをケイライン・ウインド・サービスへ提供することで、日本国内における重要な案件の成功を目指してまいります。」



Acteonについて（本社：英国ノリッジ、Group Chief Executive：Brice Bouffard）  
同社は、海洋インフラを開発・保有する企業に対して、専門的なエンジニアリングサービス  
および技術を通じたソリューションを提供する企業です。特に再生可能エネルギー、石油・  
ガス産業における調査、基礎および係留技術の設置、設備の管理、撤去に関して高い専門性  
を有しています。

## 【署名式の様子】



左より、  
ケイライン・ウインド・サービス 代表取締役社長 蔵本 輝紀  
Acteon チーフコマーシャルオフィサー Barry Parsons

[本件に関するお問い合わせ先]  
ケイライン・ウインド・サービス株式会社  
事業部長  
道嶋 紘靖  
Tel:070-3069-3637